

国際保健政策人材養成戦略の全体イメージ

～循環型キャリア文化：『リボルビング・ドア』の確立に向けて～

第6回国際保健に関する
懇談会
平成28年10月6日（木）

資料2

2016年5月12日第5回国際保健に関する懇談会資料
（再掲）
（中谷参与提出、「国際保健政策人材養成ワーキング
グループ報告書概要」1、2ページ）

背景

- 世界では、SDGs（持続可能な開発目標）の採択やエボラ出血熱を契機に、健康危機への国際連携や、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジが喫緊の課題に。
- 国民皆保険下で世界最高の健康寿命を達成し、高齢化に対応する日本の教訓は世界から注目
- しかしながら、日本における、国際保健政策人材を育成、支援する取り組みは、不十分

3つのキーマッセージ 目標：国際保健政策人材を2020年までに50%増加

1

国内における人材育成強化

1-1. 厚労省改革

- 国際的組織への長期かつ複数回の出向
- 特定分野（国際感染症等）の専門性を高めるような人事戦略
- 育成プログラムの強化（多様な人事交流、世界保健総会への派遣、国際的ワークショップ）等
- 人材の海外派遣への一元的な積極的支援

1-2. 大学改革

- 国外経験を職歴として評価し、業績として認める環境整備
- 人材育成関連事業の評価への国外経験等の要素の導入を検討
- 国際保健に関心を持つ大学ネットワークの拡充 等

2

国際的組織への働きかけ

2. 国際的組織への働きかけ

- 日本人職員数の数値目標を踏まえた送り込み
- 日本人職員採用と連動したインセンティブの検討
- 採用ミッションを日本に受け入れ 等

3

司令塔の設置

3. 人材育成の司令塔の設置（「グローバルヘルス人材戦略センター」）

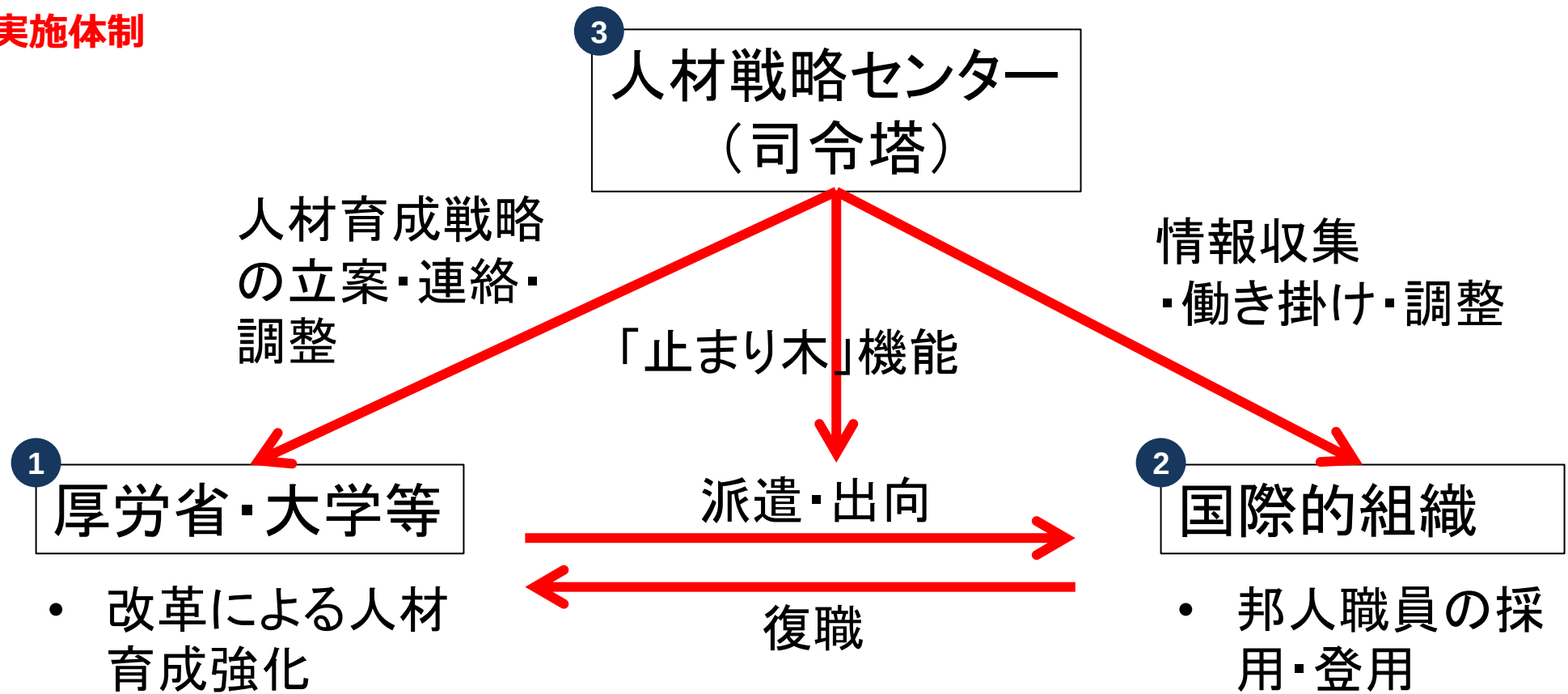
- 政策に整合したグローバルヘルス人材戦略の検討・策定
- 関係省庁との連絡調整、国内関係組織への指揮、「止まり木」機能
- 国際的組織との密なネットワーク 等

国際保健政策人材養成戦略イメージ

～循環型キャリア文化：『リボルビング・ドア』の確立へ～

目標：国際保健政策人材を2020年までに50%増加

実施体制



期待成果

- 司令塔を核とした国内、海外における戦略的な国際保健人材育成の強化
- 「リボルビング・ドア」による人材プールの構築、情報の共有

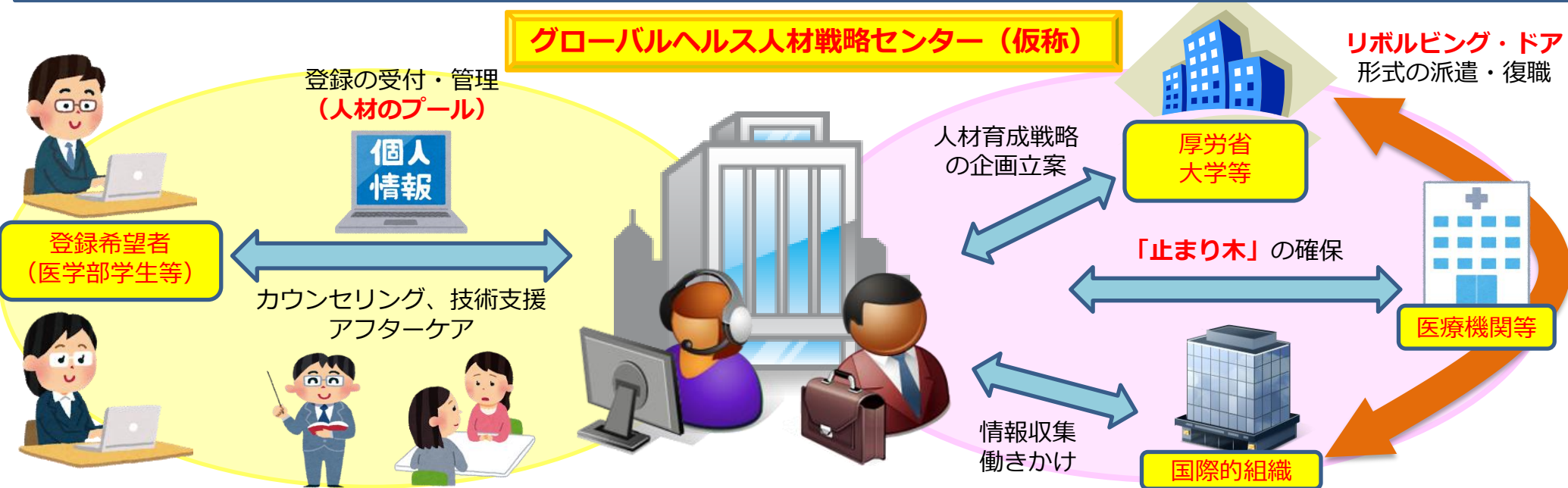
グローバルヘルス人材戦略センター（仮称）の設置

平成29年度概算要求額：1億円（新規）

- 国際保健政策人材を取り巻く環境は著しく変化。国連機関だけでなく、民間セクターや非営利組織との連携も必要となっており、支援の枠組みが複雑化。また、持続可能な開発目標（SDG s）の設定など、個別疾病対策から社会保障の充実といった政策面へと課題も変化。
- また、世界全体が中所得化しつつあり、医療市場拡大に伴う国際的な規範・基準設定に戦略的に関わる重要性も増加。変化に対応した国際保健政策人材の要請と輩出が急務。



司令塔となるグローバルヘルス人材戦略センターを設置し、国内・海外における戦略的な国際保健人材育成の強化と、「リボルビング・ドア」による人材プールの構築と情報共有を図り、2020年までに国際保健政策人材を50%増加させる。



○グローバルヘルス人材戦略センター（仮称）は、以下の業務を実施

- ① 厚労省・大学等と連携した人材育成戦略の企画立案
- ② 国際機関等からの求人情報等の情報収集、人材受け入れの働きかけ
- ③ 登録希望者の受付・管理（人材のプール）
- ④ 登録者のカウンセリング、技術支援、アフターケア
- ⑤ 就職が決まるまでの間の働き場所の提供（「止まり木」機能の提供）

Go UN/WHO

A Career Development Workshop for Young Professionals

Date & Venue: 13 August 2016, Osaka University, Osaka
15 August 2016, NCGM, Tokyo



Organized by: Ministry of Health, Labour and Welfare, WHO/WPRO, National Center for Global Health and Medicine(NCGM), Osaka University and International Center/Keio University

Supported by: Japan Association for International Health; WHO Association of Japan (tbc)

Contents: Briefing, CV and Essay Writing and Interview Exercise, and More . Language: English Application closed when reaching capacity of seats

Osaka WS: Please apply through

<http://www.pbhel.med.osaka-u.ac.jp/index.html>

Enquiry: mail: event@pbhel.med.osaka-u.ac.jp

Tokyo WS: Please apply through

<http://kyokuhp.ncgm.go.jp/activity/internal/event/010/index.html>

Enquiry: mail: [jinzaikaihatsu@it.ncgm.go.jp](mailto:jinjaikaihatsu@it.ncgm.go.jp)

国連/WHOへ行こう

若き専門職の方への

キャリア・ディベロップメント ワークショップ

Program	
12:30	Registration
13:00	Welcome and Course Orientation
13:10-13:30	REPORT of Minister's Ad Hoc Committee on Global Health Personnel
13:30-14:00	Present Status of Staffing and Understanding Post Advertisements
14:00-15:15	Writing CV and Essay: Briefing and Exercise
15:15-15:30	Break
15:30-17:00	Competency Base Interview: Theory and Practice
17:00-17:15	Summing Up
17:15-17:30	Message from Host Institution
17:30-18:30	Net Working Session

Venue



Key Resource Persons



Dr Kasai,
DPM,WPRO



Mr.J. Kobza,
DAF,WPRO



Mr.E. De
Coninck,
HRM,WPRO



Dr Nakatani
Keio Univ
(former ADG/WHO/HQ)



Dr. Ezoe, MHLW